

令和2年度
教育相談所
事業報告

1 来所相談

(1) 相談件数

区 分	令和2 年度計	令和元 年度計
前年からの相談件数	365	342
新規申込件数	83	113
相談件数	448	455
経過観察	134	144
終結件数	120	90
次期への継続件数	328	365

(2) 延べ相談回数

月	子	保護者	他機関	計
4	92	85	6	183
5	77	77	5	159
6	195	217	12	424
小計	364	379	23	766
令和元 年度同期	653	678	112	1,443
7	188	212	19	419
8	178	174	25	377
9	183	212	19	414
小計	549	598	63	1,210
令和元 年度同期	662	623	113	1,398
10	203	229	20	452
11	175	200	20	395
12	190	202	37	429
小計	568	631	77	1,276
令和元 年度同期	697	659	88	1,444
1	163	182	26	371
2	170	191	24	385
3	199	207	20	426
小計	532	580	70	1,182
令和元 年度同期	604	567	63	1,234
計	2,013	2,188	233	4,434
令和元 年度同期	2,616	2,527	376	5,519

(3) 主訴別相談件数

大分類	小分類名称	令和 元 年度 から の 継続	新規 件数	合計 件数	終結 件数	令和3 年度 への 継続	
性格・ 行動	集団不適応（内気・消極的等）	26	0	26	7	19	
	不登校・登校渋り及びその後の見守り	96	25	121	24	97	
	かん黙	3	1	4	0	4	
	反抗的	9	0	9	5	4	
	落ち着きなし	10	3	13	5	8	
	家庭内暴力	2	1	3	1	2	
	集団不適応（乱暴等）	7	2	9	1	8	
	非行（万引き・恐喝等）	2	1	3	3	0	
	いじめ	1	0	1	0	1	
	発達障害・同疑い	42	1	43	7	36	
	その他	91	27	118	30	88	
	小 計	289	61	350	83	267	
	精神・ 身体	自閉症・同傾向	1	1	2	1	1
		言葉の障害・遅れ	0	0	0	0	0
精神病・同疑い		0	0	0	0	0	
神経症・同疑い		7	3	10	1	9	
脳器質障害（てんかん等）		0	0	0	0	0	
神経性習癖（チック・吃音等）		5	1	6	2	4	
知的障害		1	2	3	2	1	
その他		7	2	9	1	8	
小 計		21	9	30	7	23	
学業	学業不振	1	3	4	1	3	
	学習に関する問題	7	2	9	4	5	
	発達検査依頼	31	7	38	17	21	
	その他	9	0	9	5	4	
	小 計	48	12	60	27	33	
進路	学校選択	0	1	1	0	1	
	転校	0	0	0	0	0	
	障害児の進路	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	小 計	0	1	1	0	1	
その他	保護者の養育不安	6	0	6	2	4	
	その他	1	0	1	1	0	
	小 計	7	0	7	3	4	
合 計	365	83	448	120	328		

○相談件数, 延べ相談回数は令和元年度より減少

○多い主訴→不登校等, 発達障害, 発達検査依頼

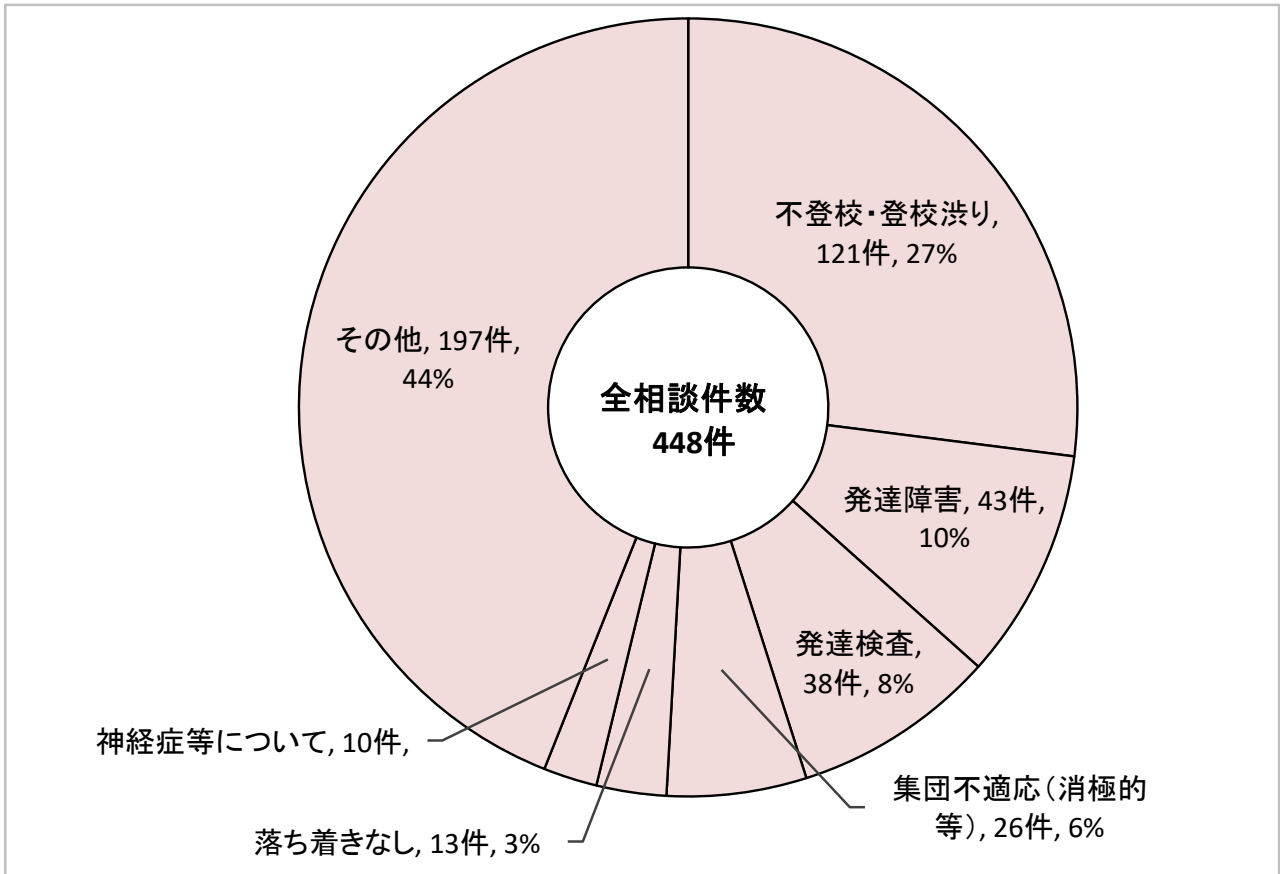


図1 来所相談主訴別相談件数(年間)

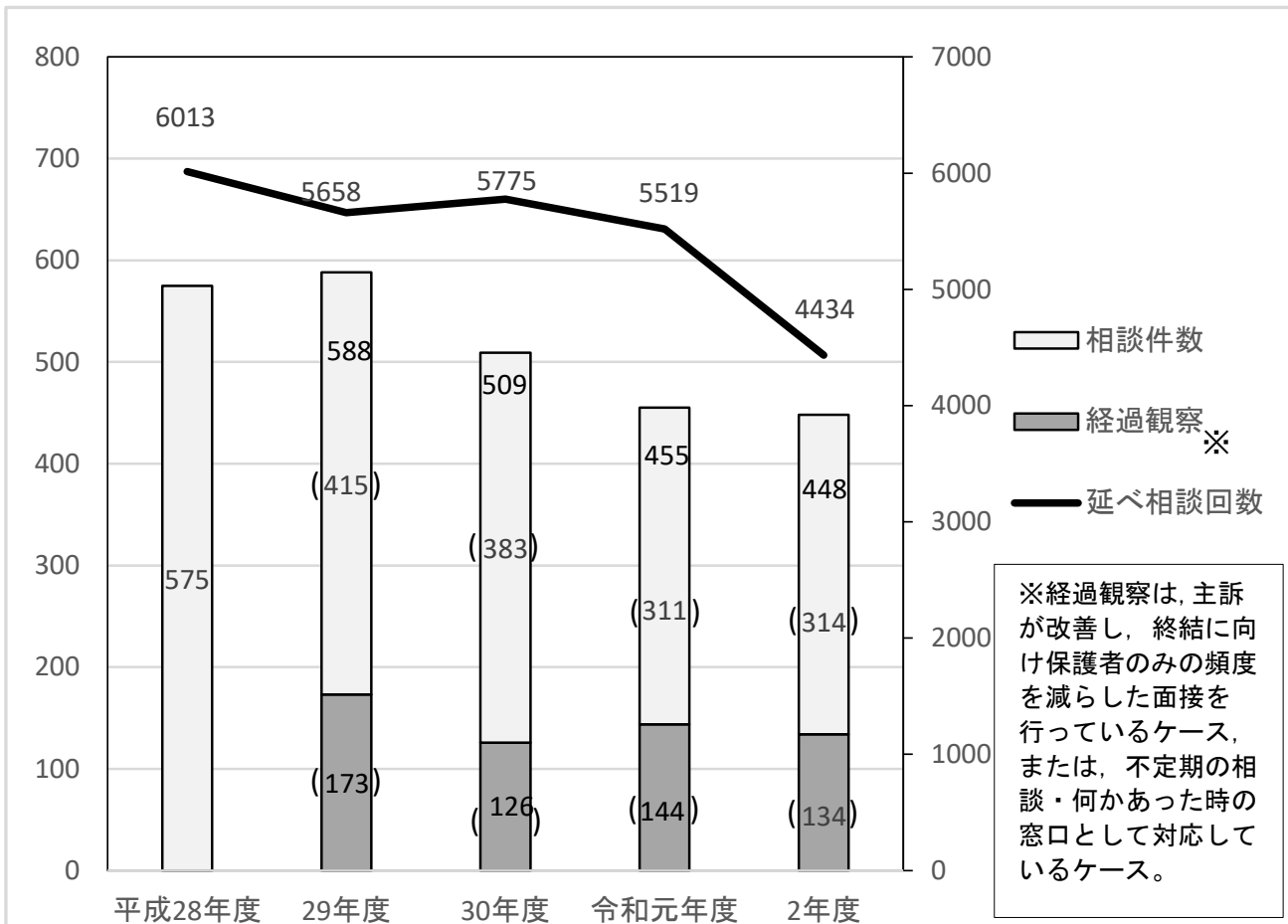


図2 来所相談件数(年間)の推移

2 電話相談

(1) 月別相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	2年度計	令和元年度計
電 話	8	11	17	15	17	16	13	12	10	10	19	15	163	162

(2) 主訴別相談件数

大分類	小分類名称	件数	令和元年度計
性格・行動	不登校・登校渋り	20	30
	いじめ	2	7
	反抗・暴力的	3	7
	落ち着きなし・多動等	2	8
	非行	1	4
	その他	21	9
	小 計	49	65
精神・身体	神経性習癖（チック・吃音等）	4	0
	からだの悩み	2	1
	性に関する問題	4	2
	知的障害・発達障害・言葉の発達	5	4
	その他	6	2
	小 計	21	9
学業	学習に関すること	12	7
	学校・教師に関すること	13	17
	塾・家庭教師に関すること	1	2
	その他	3	5
	小 計	29	31
進路	学校選択	0	4
	転退学	0	1
	その他	3	1
	小 計	3	6
育児・対人	保護者の養育不安	15	22
	家族に関すること	5	4
	友人に関すること	4	15
	その他	1	3
	小 計	25	44
その他	問い合わせ	11	6
	いたづら	0	0
	その他（不明）	25	1
	小 計	36	7
	合 計	163	162

(3) 対象別相談件数

	件数
幼児についての相談	8
小学生についての相談	79
中学生についての相談	33
高校生等についての相談	43
合 計	163

(4) 性別相談件数

	件数
男子についての相談	86
女子についての相談	77
合 計	163

(5) 相談者別相談件数

	件数
本人	26
父親	11
母親	120
祖父母	2
親戚	0
知人	0
教師	0
その他	4
合計	163

- 相談件数は令和元年度より増加
- 多い主訴→不登校, 養育不安, 学校・教師関係
- 多い相談者→母親
- 多い対象者→小学生

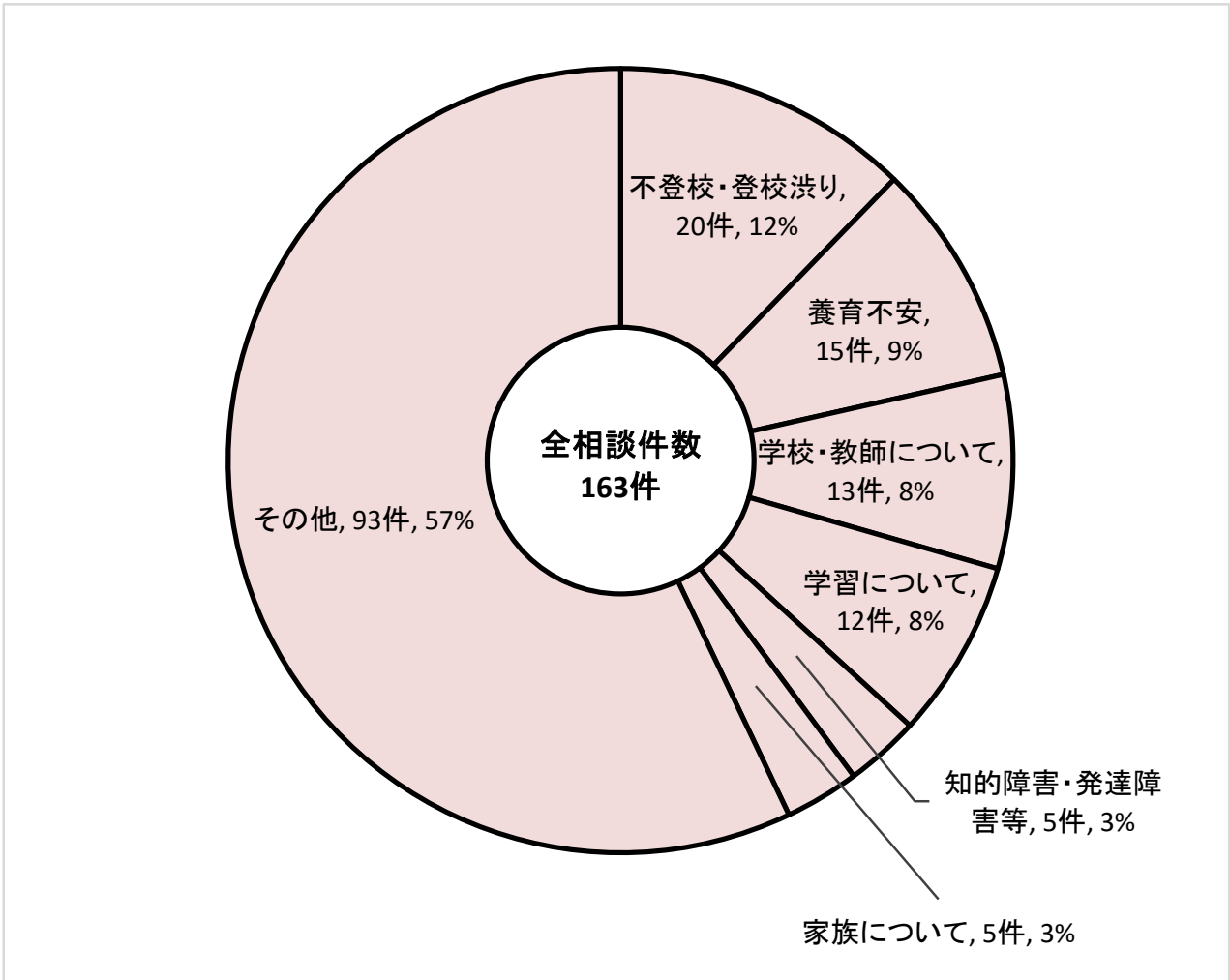


図3 電話相談主訴別相談件数（年間）

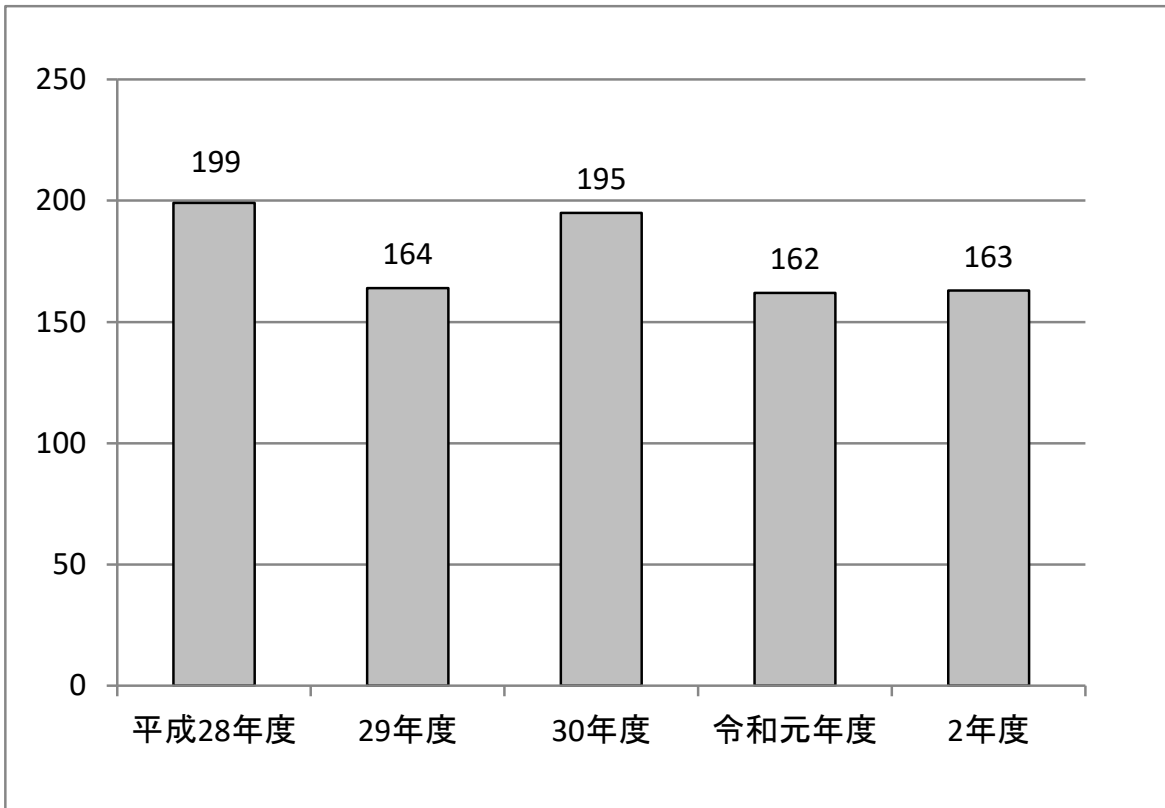


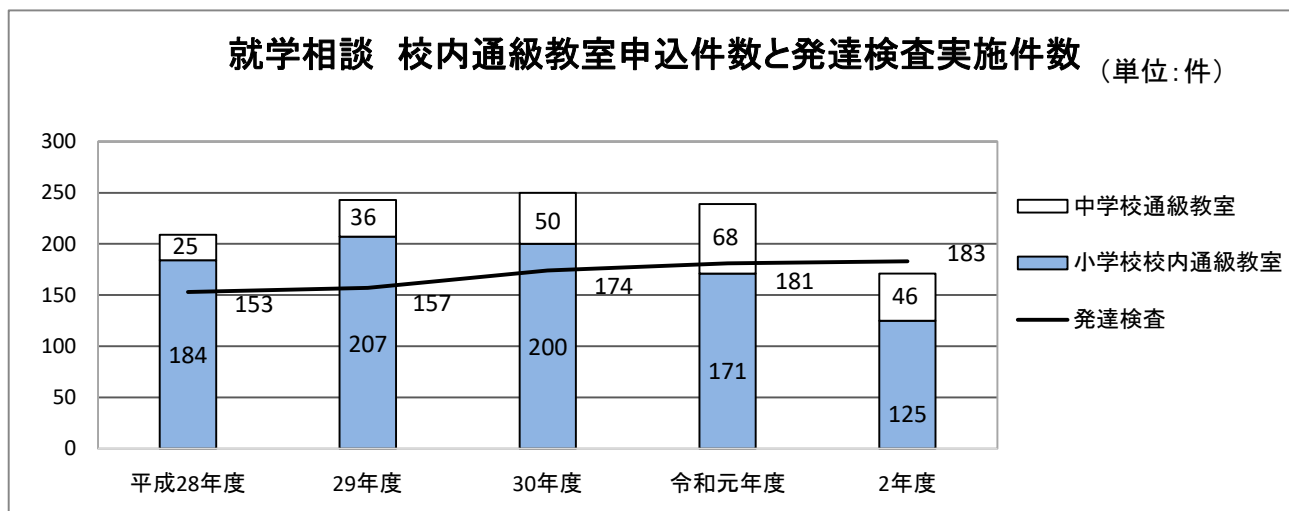
図4 電話相談件数（年間）の推移

3 就学相談

(1) 就学・転学・校内通級教室入級相談件数

区分	相談申込		面接回数		辞退	体験入学	在園在校観察	発達検査	発達検査FB	就学・通級体験会	授業見学	
	件数	件数 (相談のみの者)	回数	回数 (相談のみの者)								
就学	小学校	119	51	352	54	4	0	64	19	18	93	0
	中学校	28	0	76	0	0	9	16	9	6	0	0
転学	小学校	20	8	45	11	0	16	15	14	9	0	0
	中学校	7	0	21	0	0	5	4	4	3	0	3
校内通級	小学校	115	10	207	10	2	0	0	102	105	0	0
	中学校	42	4	71	3	1	0	1	35	32	0	0
継続相談	小学校	3	0	5	0	0	0	3	0	0	0	18
	中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合計	小学校	257	69	609	75	6	16	82	135	132	93	18
	中学校	77	4	168	3	1	14	21	48	42	0	3
合計		407		855		7	30	103	183	174	93	21
令和元年度同期		449		771		13	31	120	181	187	75	4

○相談申込件数は令和元年度から42件減少, 発達検査件数は過去5年で最高。



(2) 就学支援委員会等開催回数

就学支援委員会	0回	就学支援委員会部会	27回	就学支援委員会緊急部会	9回
---------	----	-----------	-----	-------------	----

(3) 特別支援教室入級待機児童への ソーシャルスキルトレーニング実施 0件

※平成23年4月～令和3年3月 待機児童なし

<就学相談の流れ> 申込み→保護者との面接相談→発達検査 (必要に応じて) →就学体験会・校内通級教室体験会 (未就学児のみ) →在園在校観察 (必要に応じて) →就学支援委員会→検討結果の通知

4 広報活動

件名	配布対象	発行月	発行数	備考
教育相談所だより 第64号	公立保育園 小・中学校の児童・生徒 ・保護者向け	5月	18,500	教育相談所案内, 特別支援学級・特別支援学校の公開日案内等
教育相談所だより 第65号	小・中学校の児童・生徒 ・保護者向け	1月	18,500	教育相談所案内 他の相談窓口の紹介
ちょうふの教育相談 (令和元年度)	学校・関係機関向け	8月	400	教育相談所事業報告
心のキャッチフォン	小・中学校の児童・生徒 向け	5月	17,500	電話相談案内
		9月	17,500	
		2月	17,500	
就学相談のご案内	就学時健康診断受診児童 の保護者向け	10月	2,300	就学相談の申込み 就学相談の進め方
ちょうふの教育 (教育委員会発行)	一般市民	9月20日号		学校に行きづらい子どもの保護者の 集い, 教育相談所案内
		3月20日号		各種教育相談事業の案内

5 関係機関との連携

相談活動を進めるうえで、学校・教育部内関係部署はもとより、子どもを取り巻く関係機関（調布市子ども発達センター・調布市子ども家庭支援センターすこやか・医療機関・児童相談所・行政関係部署等）と連携を図った。

また、調布市特別支援教育連絡協議会、調布市特別支援教育推進委員会、調布市要保護児童対策地域協議会実務者会議、調布市青少年補導連絡会、子ども発達センター運営会議、調布市子ども・若者支援地域ネットワーク、調布市子ども・子育て会議、各種相談事業の体制強化のための庁内連携会議、東京都立調布特別支援学校運営連絡協議会等、関係機関が主催する各種会議に参加し、情報交換や連携を図った。

6 学校に行きづらい子どもの保護者のつどい

学校に行きづらい子どもの保護者がひとりで悩み孤立することを防ぐため、保護者を対象とした集いを開催した。教育心理の専門家の講演や情報提供を通じて、保護者が子どもへの対応のヒントや心のサポートを得られるよう支援した。

回	実施日	内容	講師
1	6月29日	1 調布市の不登校関連事業について 2 松尾教授講演	東京学芸大学教育学部 教授 臨床心理士 松尾 直博

2	10月9日	1 松尾教授講演 2 松尾教授・指導主事・教育支援コーディネーター対談	東京学芸大学教育学部 教授 臨床心理士 松尾 直博
3	11月21日	1 松尾教授講演 2 教育支援担当指導主事講話	東京学芸大学教育学部 教授 臨床心理士 松尾 直博
4	3月15日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

7 小1個別面談

回	実施日	面談内容
1	9月29日, 30日	小学校1年生の保護者との個別教育相談

8 研修・研究活動

(1) 所員研修会

回	実施日	研修テーマ	講師
1	1月14日	障がいを抱えた子どもとその家族への支援, 保護者の障がい受容について	北里大学院 教授 生地 新

(2) 事例検討会

回	実施日	講師	回	実施日	講師
1	10月30日	放送大学 客員教授 大六 一志	7	1月29日	国際医療福祉大学 特任教授 飯長 喜一郎
2	11月26日	明治学院大学 教授 野末 武義	8	2月5日	東洋英和女学院大学 教授 篠原 道夫
3	12月1日	東京都立大学 特任教授 永井 徹	9	2月15日	東洋英和女学院大学 教授 篠原 道夫
4	12月11日	東京学芸大学 講師 小林 玄	10	2月19日	白百合女子大学 教授 木部 則雄
5	1月15日	品川介護福祉専門学校 校長 片岡 玲子	11	3月1日	中央大学 教授 山科 満
6	1月28日	東京学芸大学 准教授 福井 里江			

(3) 調布市就学支援委員会委員研修会

回	実施日	研修テーマ	講師
1	3月5日	特別支援教育に関して、助言者指導を受け支援方法を学ぶとともに、委員・職員の資質の向上を図る	放送大学 客員教授 大六 一志

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言中のため中止

(4) 所外研修

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(5) 関係機関での研修

専門的知識の習得や技術の向上を目指し、東京都特別支援教育推進室等の関係機関が主催する研修に教育相談員、職員が参加した。

9 巡回相談

巡回相談員12名, 小学校延べ66回, 中学校延べ25回, 合計91回行った。